

中国の保険市場の現状と 外資保険戦略の課題

2011年10月22日

沙 銀華

内 容

・ はじめに

- ・ 外資による保険市場のシェア拡大が足踏み状態
- ・ 外資生保のパートナーとの関係が変貌
- ・ 激しい販売競争への外資系保険の対応が鍵
- ・ 人材競争に対応できる人材戦略の構築が急務
- ・ おわりに

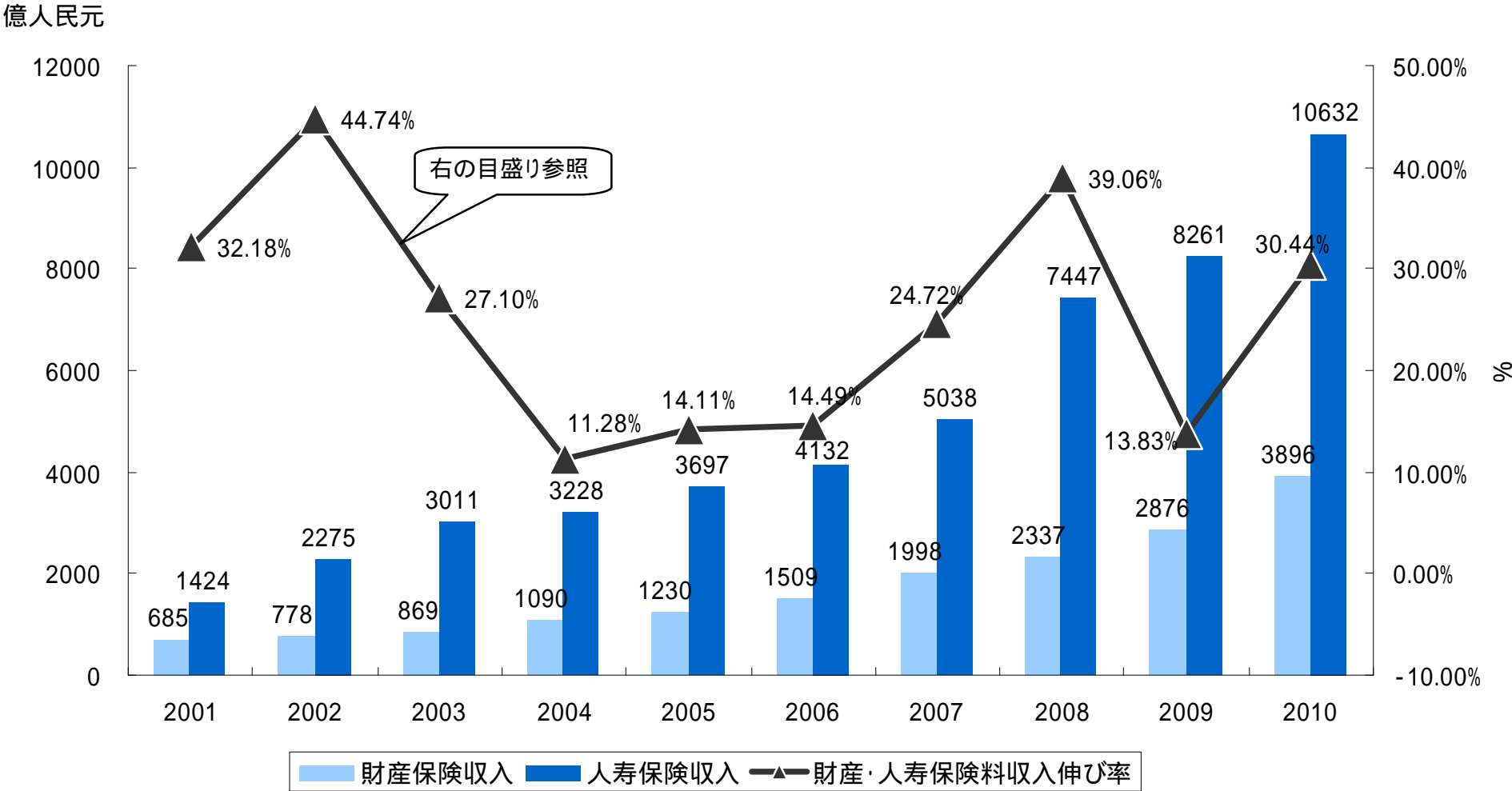
中国では、中国では改革開放路線が実施されるまで、近代的な保険事業はほとんど展開されておらず、特に個人を対象とする生命保険・損害保険はほとんど販売されていなかった。

民間の保険事業は1980年代後半から再開され、それから本格的に保険事業の発展が急速に成長し、2011年現在もその勢いは止まらなかった。2000年以降、収入保険料は2桁成長を維持しており、2011年の収入保険料は生損保合計で前年比30.4%増の1兆4528億元となった。そのうち、損保は前年比35.5%増の3896億元となり、生保は前年比28.7%増の1兆632億元となった。

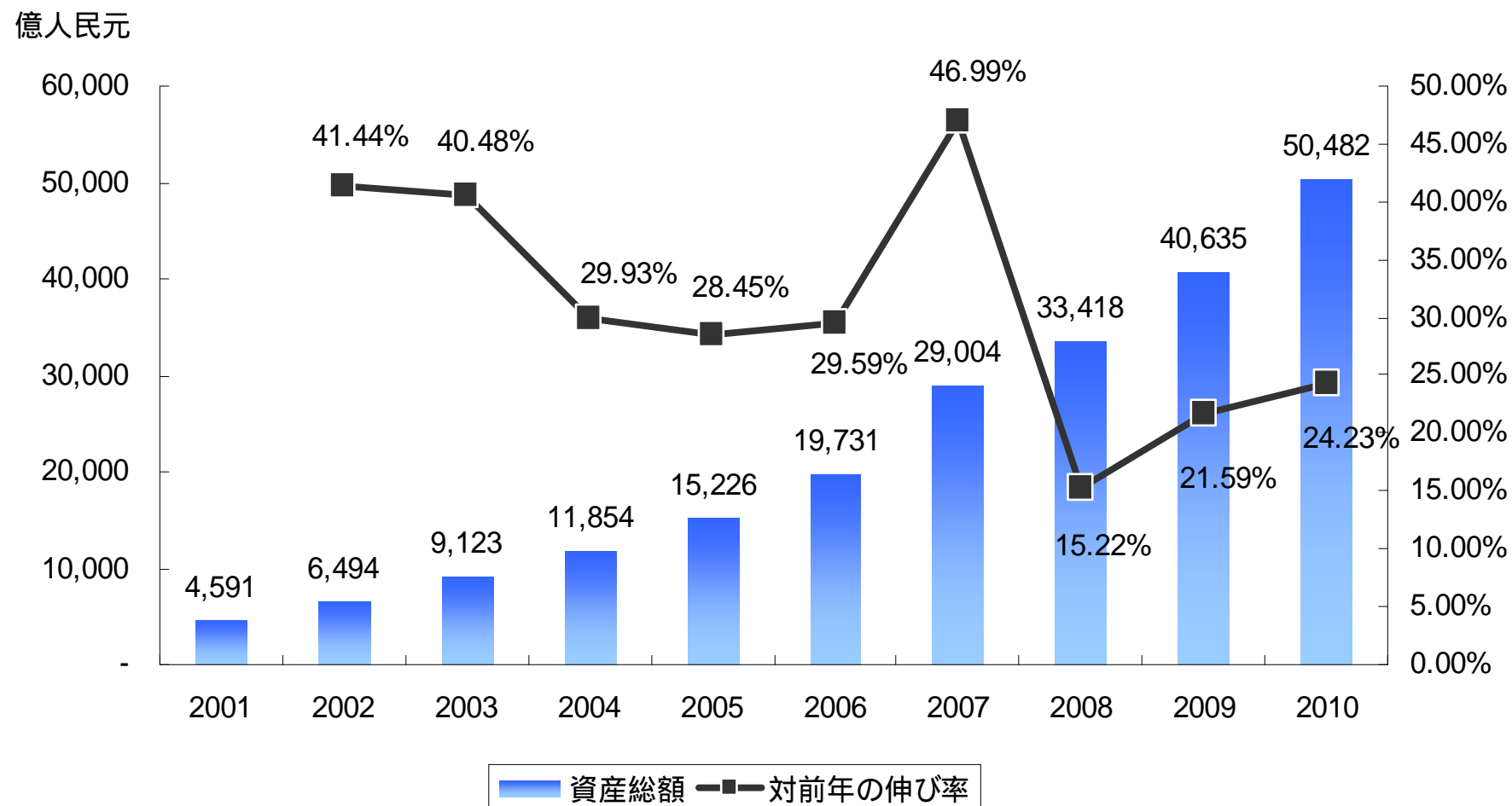
2001から2010年の10年間、生損保合計の保険料収入の平均成長率は25.2%となり、そのうち、損保は20.9%で、生保は27.8%であった。

ここでは、急成長する中国保険市場の現状を解明し、外資保険の国際戦略を展開する際、直面する課題を分析・検証したい。

図表 - 1 財産保険と人壽保険料収入の推移 (2001-2010)



図表 - 2 資産総額の推移と成長率(2001-2010)



図表 - 3 資産総額の推移と成長率(2001-2010)

単位:億人民元

	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010
資産総額	4,591	6,494	9,123	11,854	15,226	19,731	29,004	33,418	40,635	50,482
対前年の伸び率	N	41.44%	40.48%	29.93%	28.45%	29.59%	46.99%	15.22%	21.59%	24.23%

内 容

・はじめに

・外資による保険市場のシェア拡大が足踏み状態

・外資生保のパートナーとの関係が変貌

・激しい販売競争への外資系保険の対応が鍵

・人材競争に対応できる人材戦略の構築が急務

・おわりに

1992年後半から、外国保険会社の事業活動に対する中国政府の規制が緩和され始めた。当初は上海市に限って外国保険会社の保険市場進出が認められ、アメリカのAIA（中国名は、「友邦保険」）が、いち早く1992年9月に進出している。

2010年末、中国保険会社の数は121社があり、その内訳は、中国系保険会社は69社で57%を占め、外資系保険会社は52社で43%を占めている。

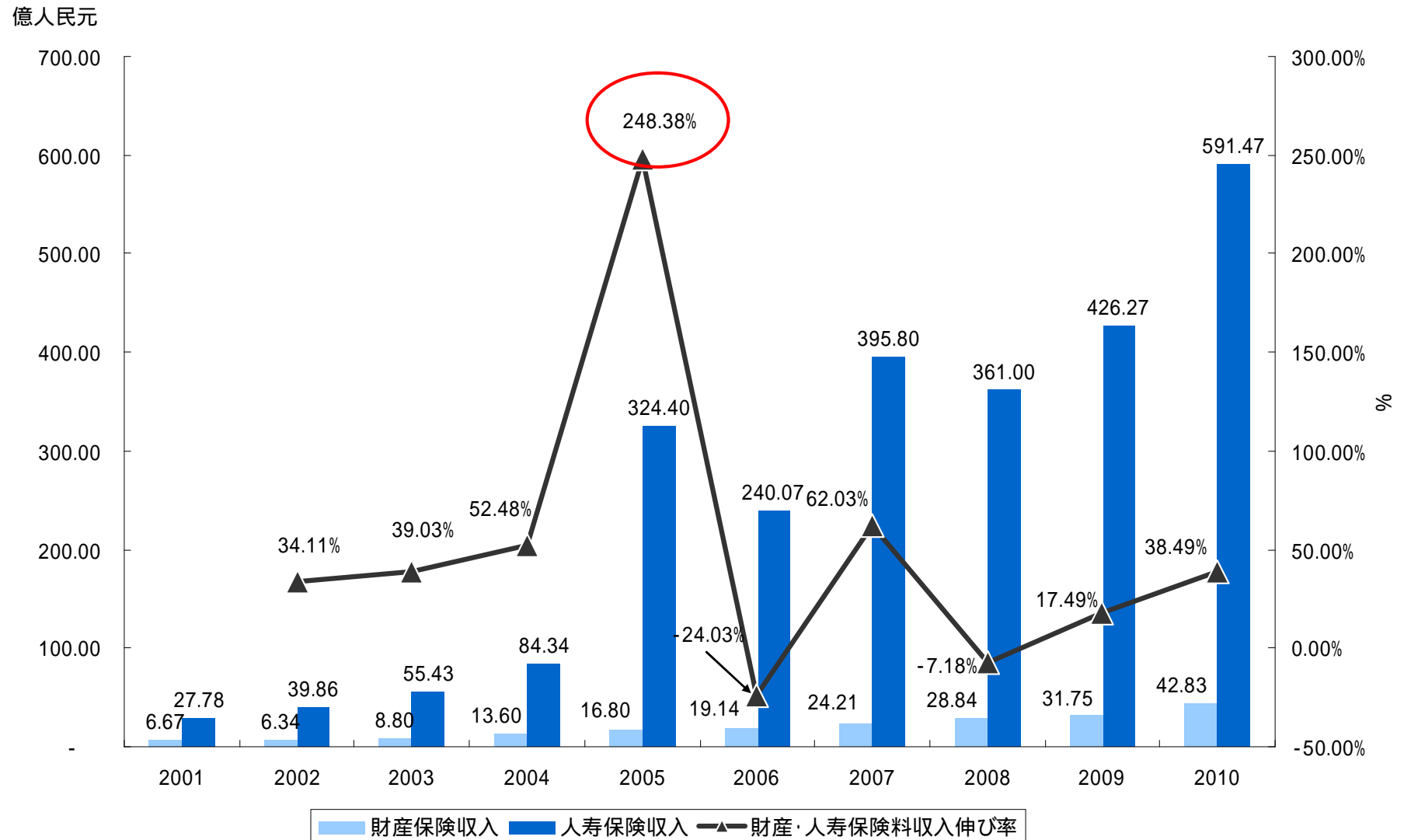
図表 - 4
保険会社数の推移 (2001年 - 2010年)

会社	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010
中国系保険会社	14	16	26	27	42	50	59	64	68	69
外資と中外合併 保険会社	21	28	36	36	40	41	43	48	52	52
合計	35	44	62	63	82	91	102	112	120	121

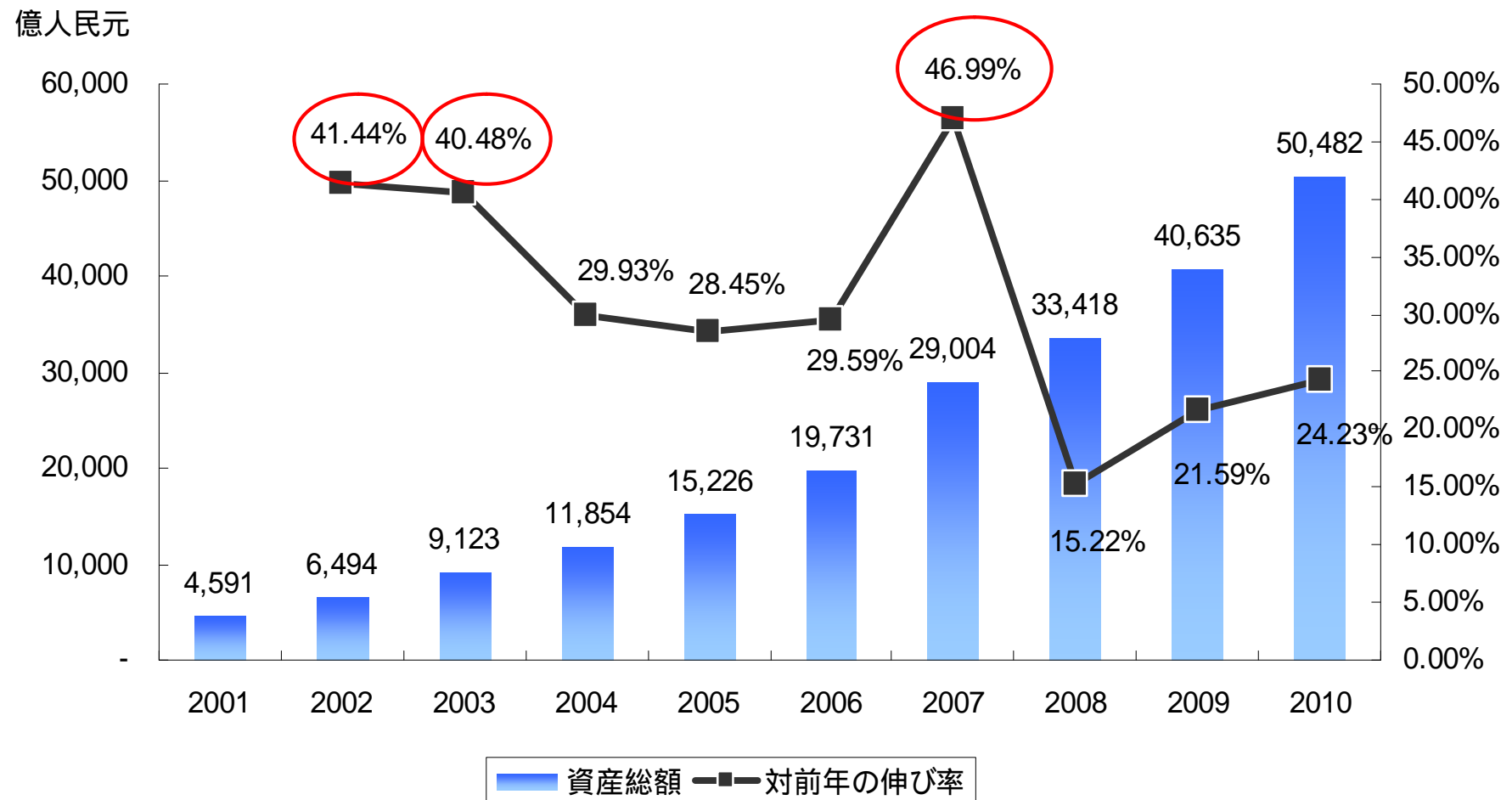
中国損保市場が好調である一方、2010年末、外資系生保会社の収入保険料は591.5億元であり、市場全体の5.6%しかないが、外資系損保会社の収入保険料は42.8億元であり、市場全体の1.1%と足踏みの状態が続いている。

外資系損保の状況を例にすると、90年代後半からすでに中国に進出し、一時市場シェアの3%を占めていたが、その後年々減少している。主な原因として、外資系保険会社は、ほとんどが中国に進出している自国の会社を販売のターゲットとしており、中国系会社、市民向けのサービスをまだ本格的に展開していないようである。また、自動車に関する強制保険の販売はまだ許可されておらず、販売できないことも大きな原因の一つである。厳しい現状の中、保険業界では、外資系保険会社の市場シェアは現状維持或いはさらなる縮小が予測されている。

図表 - 5 外資財産保険と人壽保険料収入の推移 (2001-2010)



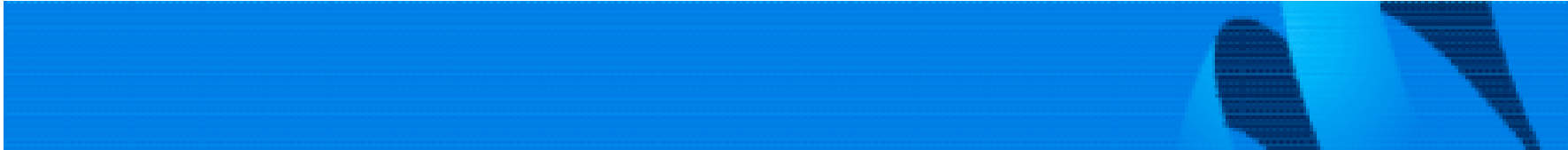
図表 - 6 外資保険会社資産総額の推移と成長率(2001-2010)



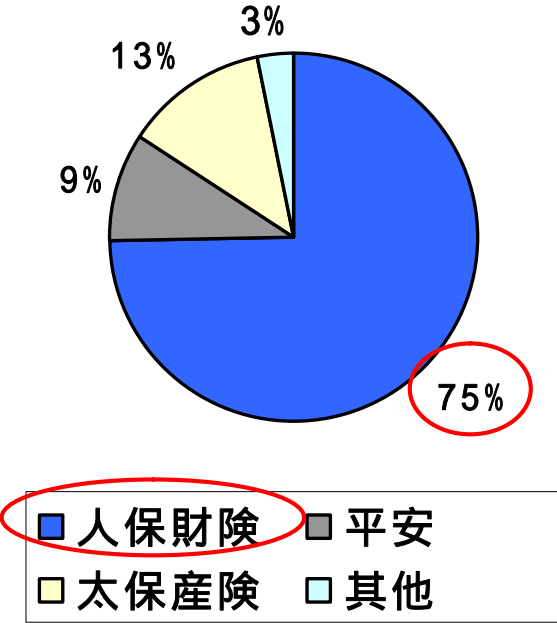
図表 - 7 中国系企業の財産保険料の推移(2001年～2010年)

単位:百万人民元

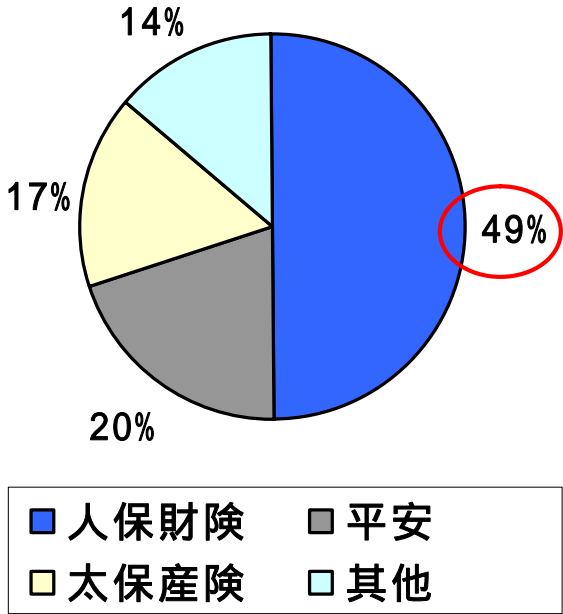
会社名	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010
人保財險 PICC	50,735	54,941	58,074	65,578	65,936	71,299	88,592	101,656	119,464	153,930
平安 PingAn	6,422	8,320	8,418	10,644	12,675	16,862	21,450	26,751	38,483	62,116
太保産險 CPIC	8,513	10,214	524	927	14,440	18,123	23,433	27,817	34,228	51,529
中華聯合 China United	389	515	1,874	6,489	10,398	15,057	18,311	19,125	19,440	19,336
天安 TianAn	397	718	2,097	5,128	6,351	6,387	7,325	6,698	7,000	8,028
永安 YongAn	162	33	782	2,102	3,164	3,988	5,533	5,606	5,339	5,790
華安 HuaAn	346	293	848	1,818	2,120	2,831	831	749	2,809	3,966
華泰 HuaTai	635	762	818	988	1,177	1,478	2,564	2,488	2,900	3,851
大衆 DaZhong	398	508	984	954	1,070	1,296	1,280	1,205	1,441	1,725



2001年
中国系企業の財産保険料



2010年
中国系企業の財産保険料

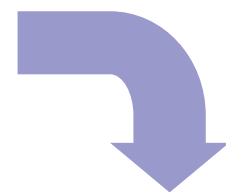
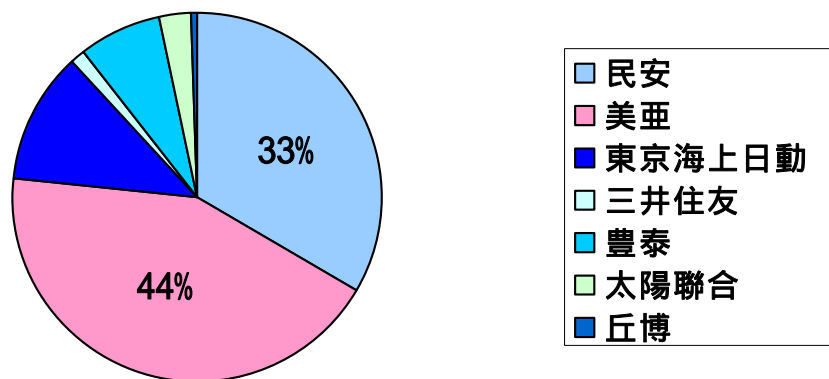


図表 - 8 外資系企業の財産保険料収入の推移(2001年～2010年)

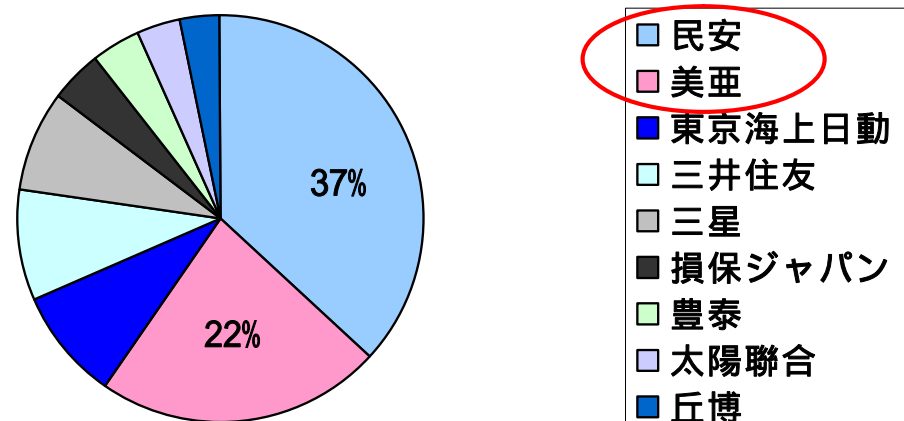
単位:百万人民元

会社名	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010
民安 MinAn	166	166	191	216	237	241	462	940	1277	1673
美亜 AIU	214	269	328	454	568	698	830	847	810	1021
東京海上日動 Tokio Marine Nichido	57	70	117	207	237	300	365	405	330	413
三井住友 Mitsui Sumitomo	6	24	71	125	156	182	250	294	328	405
三星 Samsung	-	41	60	109	115	157	220	259	264	362
損保ジャパン Sompo Japan	-	-	8	43	60	66	82	118	130	184
豊泰 Winterther	37	50	70	65	57	59	63	102	152	175
太陽聯合 Royal & Sun	13	26	37	75	72	104	143	192	132	163
丘博 Chubb	3	6	9	20	37	65	88	112	117	144

2001年外資系企業の財産保険料収入



2010年外資系企業の財産保険料収入

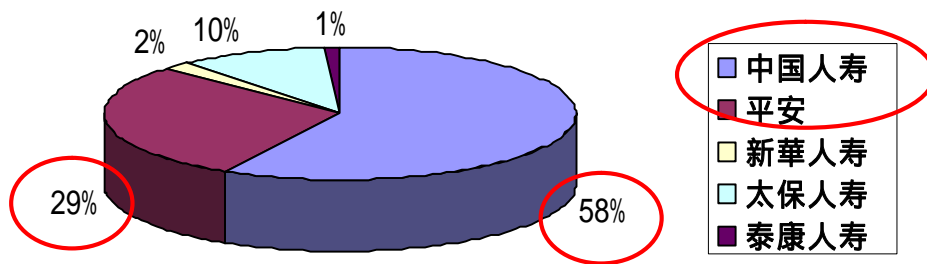


図表 - 9 中国系企業の人寿保険料の推移(2001年～2010年)

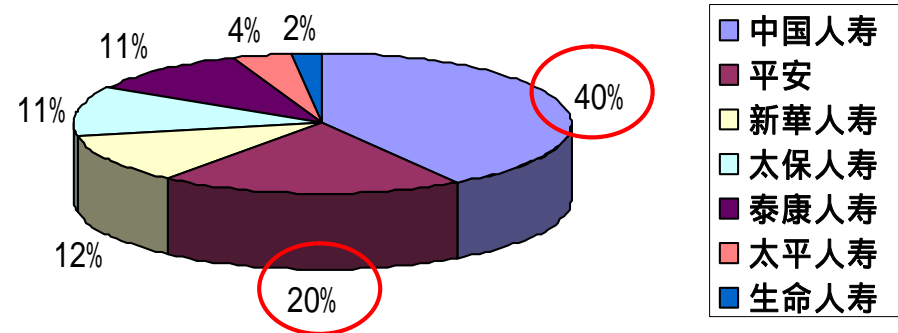
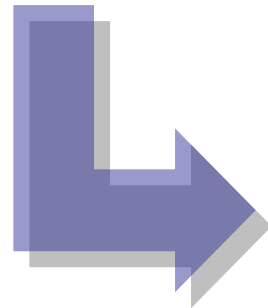
単位:億人民元

会社名	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010
中国人寿 China Life	812	1,287	1,346	1,497	1,607	1,838	1,966	2,956	2,950	3,330
平安 PingAn	401	535	590	549	588	690	792	1,012	1,323	1,591
新華人寿 New China	23	80	172	187	211	267	326	557	668	936
太保人寿 CPIC	143	249	377	345	362	378	507	661	676	920
泰康人寿 TaiKang	17	66	133	177	178	208	342	577	670	868
太平人寿 TaiPing	-	17	33	65	78	112	158	189	226	330
生命人寿 Sino Life	-	-	0	12	32	35	66	80	70	153

2001年中国系企業の人寿保険料



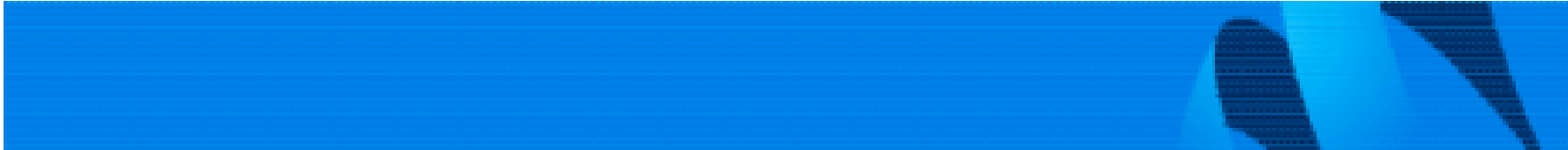
2010年中国系企業の人寿保険料



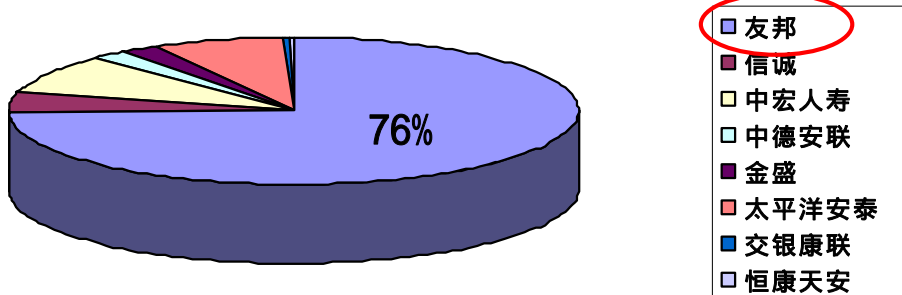
図表 - 10
外資系企業の人寿保険料収入の推移(2001年～2010年)

単位:百万人民币

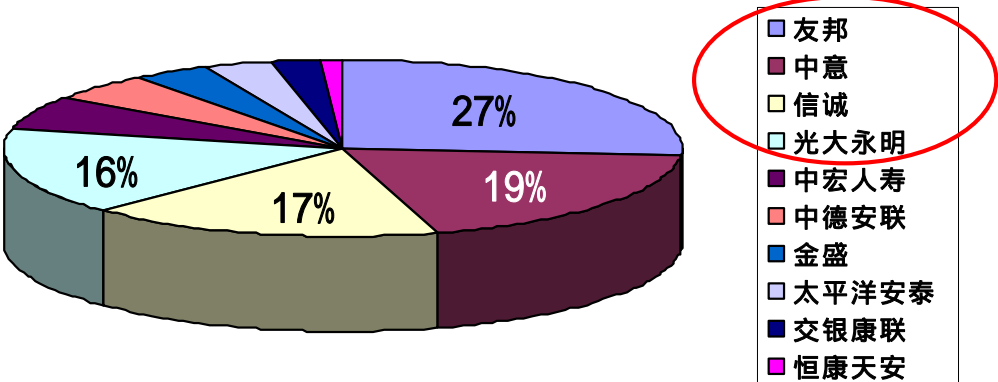
会社名	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010
友邦 AIA	2,072	2,608	3,538	4,807	6,442	6,946	8,896	7,581	8,041	8,470
中意 Generali	-	32	88	334	19,972	5,383	3,304	2,112	4,500	6,146
信诚 CITIC-Prudential	121	214	382	646	1,036	1,614	3,012	3,714	4,020	5,414
光大永明 Sun Life Everbright	-	31	168	213	257	531	1,665	1,450	1,491	5,106
中宏人寿 Manulife-Sinochem	243	403	488	598	702	894	1,127	1,401	1,651	2,007
中德安联 Allianz	56	123	167	188	290	1,204	3,001	2,412	1,764	1,545
金盛 AXA-Minmetals	64	93	124	170	295	483	901	589	830	1,178
太平洋安泰 CPIC-ING	209	447	609	617	712	629	708	1,048	982	1,039
交银康联 BoCommLife	7	13	38	50	218	286	296	154	84	713
恒康天安 John Hancock Tianan	6	23	47	76	157	196	127	281	351	375



2001年外資系企業の人寿保険料収入



2010年外資系企業の人寿保険料収入



内 容

・はじめに

・外資による保険市場のシェア拡大が足踏み状態

・ **外資生保のパートナーとの関係が変貌**

・ 激しい販売競争への外資系保険の対応が鍵

・ 人材競争に対応できる人材戦略の構築が急務

・おわりに

外資保険会社の中国の進出について、中国のWTO加盟時、外資生保は中国のパートナーを選択し、合弁方式で中国に進出することができるとWTOに約束した。

WTO加盟

その後、外資生保は中国でパートナーを選択し、殆ど折半(50%ずつ)して資本金を出資し、合弁生保を設立した。

現状

現在、AIAを除く合弁生保は24社に上るが、日系生保2社は中国に進出している。

ところが、2008年後半より、中国の銀行業が保険分野に進出することが許可され。

中国工商銀行は金盛人壽保險（AXAとの合弁）の60%を取得し、AXAは51%から27.5%に、中国五鈺グループは、49%から12.5%まで持分を減少した。

中国建設銀行は、太平洋安泰人壽保險（ING Capital Life）の51%を取得、ING Capital Lifeはすべての持分を他社に譲渡した。

中国交通銀行は、中保康聯人壽（CMG Life）の62.5%を取得、オーストラリアのコモンウェルス銀行は49%から37.5%まで下げた。

上記のように、折半出資する合弁生保という外資生保が中国に進出する方式が、変貌することが始まり、今後、合弁生保が外国資本の持分を減少する傾向が拡大する可能性がある。

内 容

・はじめに

・外資による保険市場のシェア拡大が足踏み状態

・外資生保のパートナーとの関係が変貌

・ **激しい販売競争への外資系保険の対応が鍵**

・人材競争に対応できる人材戦略の構築が急務

・おわりに

外資系保険会社と中国系保険会社と保険市場の競争は

1
保険販売チャネル

2
商品

1. 保険販売チャンネル

近年、中国の保険市場では、最も激しい競争しているのは保険販売チャンネルの競争である。現在、保険販売チャンネルが多様化しており、ダイレクト販売、外務員販売、仲介業者を利用する販売、銀行窓口販売、電話販売、テレビショッピング販売、ネット販売、スマートフォン販売、カード式保険販売等がある。販売チャンネルが多様化すると同時に、チャンネルを巡る競争も激しくなっている。

ところが、外資系保険会社は、中国に進出した後、どのようなチャンネルを使い、迅速にその保険市場に保険商品をスムーズに販売するか、適切に選択するが戸惑いケースが多い。外資系保険会社は本国の経営方針を貫き通すと失敗する恐れがあるため、現地に適した経営方針に転換する必要があり、様々な保険事業の戦略を立てなければならない。

2. 商品

現状

外資系保険会社は自国で販売実績の良かった商品又は自社がもつ商品開発技術を中国に導入するケースは少なく、殆ど中国系保険会社と同様の商品を販売している。

課題

外資系保険会社が中国保険販売のニーズをうまく把握し、自社の特徴がある商品の販売戦略の策定については、今後の課題としてまだ残っている。

内 容

・はじめに

・外資による保険市場のシェア拡大が足踏み状態

・外資生保のパートナーとの関係が変貌

・激しい販売競争への外資系保険の対応が鍵

・人材競争に対応できる人材戦略の構築が急務

・おわりに

中国の保険マーケットでは、保険専門人材の競争が激しく、ルールのない競争ともいえる。外資系保険会社の人材戦略を構築する場合。



第一に、人材の現地化である。

第二に、中国に進出する際、現地で即戦力が発揮できる第一線で活躍できる「一軍」の人材が重要であるが、二軍のような予備軍の育成も大きな課題として無視できない。

第三に、人材の離脱に関する人材を引き留める対応措置を取るのは急務である。

内 容

・ はじめに

・ 外資による保険市場のシェア拡大が足踏み状態

・ 外資生保のパートナーとの関係が変貌

・ 激しい販売競争への外資系保険の対応が鍵

・ 人材競争に対応できる人材戦略の構築が急務

・ おわりに